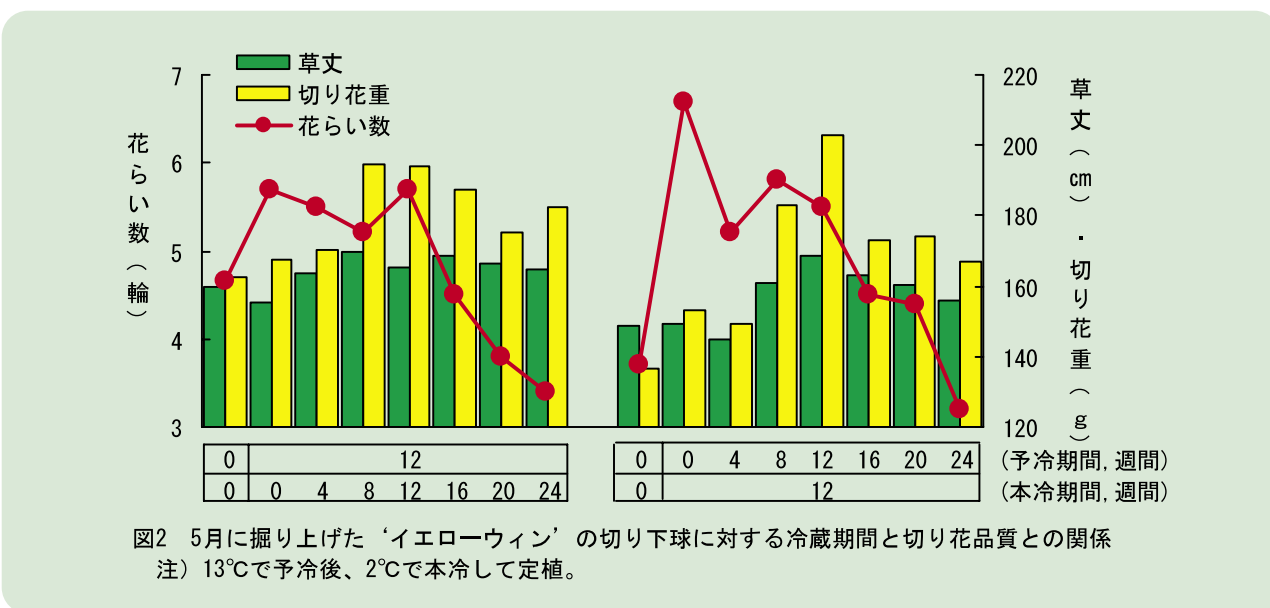
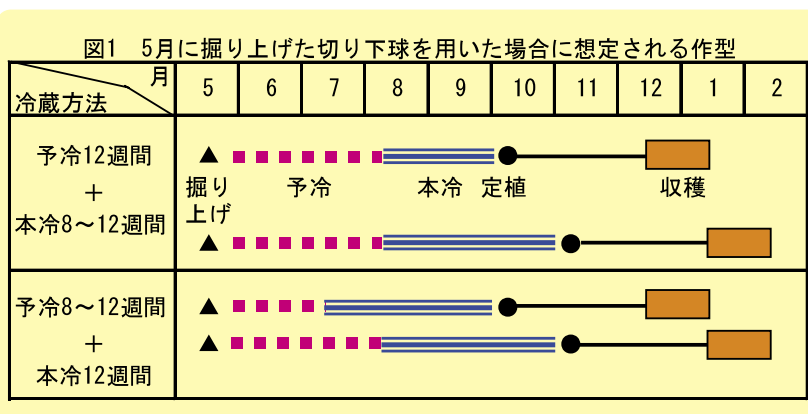


OTハイブリッドリリー ‘イエローウィン’ での 5月に掘り上げた切り下球の冷蔵方法



OTハイブリッドリリーは、黄色いオリエンタルハイブリッドリリーとも言われ、近年栽培面積が急増しています。しかし、球根のほとんどを海外から輸入しており、10~1月に利用できる球根が不足することがあります。そこで、切り下球を利用するため、5月に掘り上げた‘イエローウィン’を用いて、冷蔵期間中の予冷(13℃)と本冷(2℃)が切り花品質に及ぼす影響を検討しました。

その結果、13℃の予冷を12週間とした場合には、2℃で8~12週間の本冷、2℃の本冷を12

週間とした場合には13℃で8~12週間の予冷で、品質の高い切り花が得られました。その他の組合せでは草丈が低くなったり、ボリュームや花らい数の減少がみられました。

したがって、5月に掘り上げた‘イエローウィン’の切り下球は、前述の冷蔵により10月上旬から11月上旬に定植することができます。

今後は、さらに12~1月に定植できるように、切り下球の掘り上げ時期や冷蔵温度等について検討する予定です。

(花き担当 二宮 千登志 088-863-4918)